

ご自由にお持ち帰りください

社会医療法人有隣会 東大阪病院

2025年



東大阪病院ニュース 秋号

【目 次】

P.1:内科ポータルサイト紹介 P.2:救急外来の紹介
P.5:リハビリ通信 P.6:管理栄養士提案レシピ

P.3:出張健康講座について
P.7:外来診療一覧

P.4:登録医紹介
P.8:お見舞い・面会の方へ / 病院概要

内科ポータルサイトを開設しました

【内科ポータルサイトのTOP画面】
不安な症状、放っておかないで！と題して、東大阪病院内科医師が監修する内科に関する情報サイトです。

日々の体調不良や健康診断の結果に、漠然とした不安を抱えていませんか？

「この症状はもしかして何かの病気のサイン？」とインターネットで検索しても、膨大な情報の中から信頼できるものを見つけるのは難しいものです。

そこで、当院では地域の皆さんの健康に関する疑問や不安を解消するために、当院医師が監修した内科ポータルサイトを立ち上げました。このサイトでは「典型例で解説」というコンテンツを掲載しています。高血圧や糖尿病などの生活習慣病から、様々な病気について専門医が分かりやすく解説しています。

【東大阪病院 内科ポータルサイトを訪れるメリット】

不安の解消:ご自身の症状がどのような病気と関連している可能性があるのか、その手がかりを得ることができます。

受診の目安:記事を読むことで、医療機関を受診すべきかどうかの判断材料になります。

専門医が典型例で解説

東大阪病院 内科ポータルサイトで気になる症状について読んだ後、「やはり医療機関で一度診てもらいたい」と感じられたら、サイト内の【地域医療機関を知る】ページをご覧ください。このページには、当院と連携している地域の診療所やクリニックの情報が掲載されています。ご自宅や職場から通いやすい、身近な「かかりつけ医」を見つけることができます。

まずは、スマートフォンでQRコードを読み取り、当院の内科ポータルサイトにアクセスして、気になる症状の記事を読んでみませんか？

皆さんの健康への不安を和らげ、次の一步を踏み出す手助けになれば幸いです。



東大阪病院
内科ポータルサイト

「もしも」のために。東大阪病院 救急外来の紹介

救急外来について

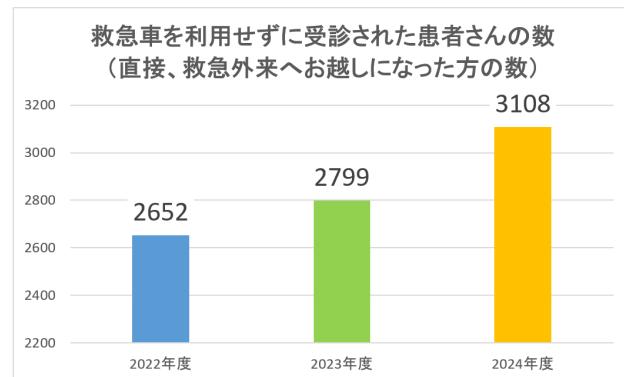
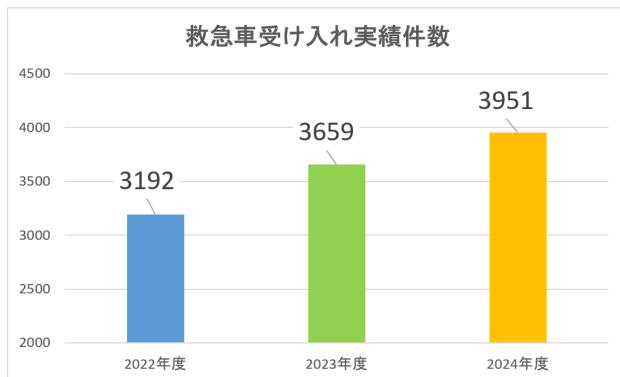
当院は、「地域社会との共存・共栄～地域住民の健康を支援することで地域社会に貢献すること～」という理念を掲げ、職員が一丸となって地域医療に取り組んでいます。

2023年10月1日の新病院移転を経て、私たちはさらに地域住民の皆さんに必要とされる救急外来を目指し、体制の充実に努めています。急な病気や怪我で不安な時、「24時間365日、断らない救急」として皆さんの健康を支えます。

救急外来の利用実績

当院の救急外来の利用状況をご紹介します。

救急車による搬送や、ご自身で来院（ウォークイン）される患者さんの件数は年々増加傾向にあり、地域の「最後の砦」としての役割を実感しております。



一人で悩まないで、まずご相談ください

「朝まで我慢しようかな」「救急車を呼ぶほどではないけど」と悩む時、当院の救急外来はいつでも開いています。

【こんな時はすぐにご来院ください】

- ・吐き気や下痢が止まらない、高熱でしんどい。
- ・他の病院がやっていない、どこに診てもらうか分からぬ。 等

※小児の診療については、症状により対応可否がありますので、まずはお電話ください

不安な時は、#7119（救急安心センター）への電話相談も有効です。もし、救急安心センターから「医療機関の受診を勧められた」場合は、迷わず当院にご相談ください。

【救急外来診察後の患者さんの声（一例）】

「夜中に急な腹痛で不安でしたが、すぐに診てもらえて症状が落ち着き、安心して帰宅できました。」

「怪我で緊急入院が必要になりましたが、迅速な処置と治療のおかげで無事に症状が改善し、退院できました。」

当院は、入院が必要な重症の患者さんに対しても、安心・安全な治療を提供できる体制を整えています。

東大阪病院 救急外来の強み

- ▶24時間365日対応：内科・整形外科の救急診療を毎日行っている。
- ▶夜間も迅速な対応：夜間は、救命医や内科医、整形外科医が常駐しており、緊急性の高い症状にも迅速に対応できる体制を構築しています。
- ▶専門的な対応力：突然の病気や事故・怪我への「早期発見・早期治療」はもちろん、必要に応じてCT・MRIなどの高度な検査も24時間体制で実施できます。

[次のページをご覧ください→→→](#)

【患者さんの苦痛に寄り添う接遇強化】

「しんどい」「痛い」「苦しい」など、救急で苦痛を感じている患者さんに対し、不安や心理的な負担を軽減できるよう、共感できる声掛けを徹底しています。言葉遣いはもちろん、「目配り・気配り・心配り」ができる看護師の育成に継続して取り組んでいます。

【地域住民の皆さんへのお願い】

近隣にお住まいの方々には、救急車のサイレンの音でご迷惑をおかけしております。

救急車の安全な運行は法令で定められており、安全確保のためにサイレンの使用は必須となっております。このサイレンは、地域にお住まいの皆さんの安全と命を守るために欠かせない音として、何卒ご理解とご協力いただけますようお願い申し上げます。

今後も、皆さんの健康を支える地域の中核病院として、職員一同、より一層努めてまいります。

▶ 時間外のご利用 平日 18:00～翌8:00 土曜日 17:00～翌8:00

※日曜・祝日は終日、時間外受付をご利用下さい。

時間外受付について

時間外の救急受付は、1階西側にある『時間外受付』をご利用下さい。

『インターホン』のボタンを押していただければ、職員がドアを開けますので少々お待ちください。



救急外来へのお問合せは
06-6939-1121

出張健康講座 開催報告

7月15日・8月22日・9月29日に鯰江憩の家、8月25日に成育コミュニティホール、9月18日に城東区在宅サービスセンターで講師を務めさせていただきました。

講演テーマは『転倒予防』『介護と食事』『お金と介護』『eスポーツ前の準備体操』と多岐にわたりました。特に、城東区地域包括支援センター主催の『夏のセミナー & 高齢者なんでも出張相談会』で講演した『お金と介護』のテーマには、大きな反響がありました。

皆さんの生活に直結する重要な内容であったため、普段は健康教室に参加されない方や、遠方からわざわざご参加くださる方も多くいらっしゃいました。皆さんの高い関心に触れ、必要な情報をお伝えできることを大変嬉しく思っております。

今後も、地域社会への貢献を目指し、皆さんのニーズに応じたテーマで活動を続けてまいりますので、どうぞご期待ください。



8月25日（月）

テーマ

『お金と介護～不安を安心に変える～』

場所：成育コミュニティホール



9月18日（木）

テーマ

『食べる力を支える栄養の工夫』

場所：城東区在宅サービスセンターゆうゆう



9月29日（月）

テーマ

『転倒予防とeスポーツ』

場所：鯰江憩の家

かかりつけ医を持ちましょう

► 「かかりつけ医」とは？

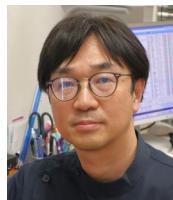
日本医師会では「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。



杉岡内科医院

● 内科・循環器内科・小児科

- 院長：杉岡 憲一 先生
- 住所：大阪市鶴見区今津中5-6-26
- 電話：06-6968-6632
- 訪問診療：あり
(かかりつけのみ)
- 往診：あり
(かかりつけのみ)



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	休	休
16:30～19:00	●	●	●	休	●	休	休	休

当院は東大阪市に隣接する大阪市鶴見区今津地域にあり、JR学研都市線の徳庵駅から徒歩5分のところにあります。1975年に父である先代院長が開設したクリニックを継承し、リニューアル開院して現在に至っています。

院長は、1996年に大阪市立大学医学部医学科卒業後、大阪市立総合医療センターで初期臨床研修し、大阪市立大学循環器内科講師などを経て、2017年に当院の院長に就任しました。専門は循環器内科で、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医などの学会専門医です。当院では先代の方針を引き継ぎ、地域のニーズにこたえるべく、内科全般および小児科の診察をしております。

また、高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病の管理により、患者さんの健康維持のお手伝いをいたします。さらにインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの発熱外来、在宅医療、ワクチン接種などにも幅広く対応しています。専門的医療や入院が必要な場合は、専門病院と連携を取りながら、適切に対応いたします。

今後ともどうぞ宜しくお願ひいたします。

よこいクリニック

● 内科・循環器内科・皮膚科

形成外科・美容皮膚科

- 院長：横井 満 先生
- 住所：大阪市旭区 中宮1-3-17
- 電話：06-6953-7722
- 訪問診療・往診：なし

<皮膚科の診療時間>

9:30～13:00 月・水・金・土
16:00～19:00 火



内科 診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	休	●	●	休	休
16:00～19:00	●	●	●	休	●	休	休	休

当院は2024年5月より、内科・循環器内科・皮膚科・形成外科・美容皮膚科として夫婦で診療に当たらせていただいております。循環器専門医と形成外科専門医が常勤しており、日頃より地域のかかりつけ医として様々なニーズに対応出来るように心がけております。

日々の風邪、発熱外来、特定健診、ワクチンのことなどもお気軽にご相談ください。生活習慣病の管理をはじめ、心筋梗塞・狭心症・脳卒中の再発予防、心不全・不整脈の検査・治療などを得意としております。健診で異常を指摘された方もお気軽にご相談下さい。

湿疹、かゆみ、イボ、タコなど、あらゆる皮膚に関するお悩みに対しても、お子様からご高齢の方までお役に立てればと思っております。

無料駐車場7台分も完備、キッズスペースあり、バリアフリー設計となっておりますので車椅子のままでも受診可能となっております。

患者様により近い環境で地域に根ざした医療をモットーに日々の健康管理のお手伝いをさせていただきます。

今後とも、よろしくお願ひいたします。

ガイドライン推奨の新しい痙攣治療 『体外衝撃波治療（ショックウェーブ）』のご紹介

今回は、脳卒中などの後に起こる痙攣（けいしゅく）の新しい治療法についてご紹介します。

痙攣とは？

痙攣とは、脳損傷や神経系の障害によって、筋肉が緊張しすぎて硬くなってしまう状態を指します。この状態が続くと、手足が動かしにくくなり、やがて**拘縮（こうしゅく）**といって関節が固まって動く範囲が狭くなってしまいます。これにより、麻痺の改善が妨げられたり、日常生活動作が困難になったりします。

体外衝撃波治療の有効性

当院では、この痙攣の緩和に役立つ体外衝撃波治療（ショックウェーブ）を導入しています。

この治療法は、一般社団法人日本脳卒中学会が発表した『脳卒中治療ガイドライン2021改訂2025』においても、「痙攣に対して体外衝撃波治療を行うことは妥当である。エビデンスレベル高」と記載されている、非常に有効性の高い治療方法です。筋肉の緊張や拘縮を緩和することで、患者さんの運動機能の向上や生活の質の改善（QOL向上）が期待されます。



体外衝撃波治療
(ショックウェーブ)

体外衝撃波治療とは？

体外衝撃波治療は、注射や手術を伴わない非侵襲的な物理療法です。緊張が高くなっている筋肉や腱に対し、体外から高出力の音波（衝撃波）を当てることで、硬くなった筋肉の柔軟性を取り戻し、痙攣を和らげる目指します。

注射によるボツリヌス療法や内服薬といった既存の治療法と並び、痙攣治療の重要な選択肢の一つとして国際的にも注目されています。患者さんへの身体的な負担が少なく、筋緊張の緩和を比較的早期に得られることが大きな特徴です。

当院回復期リハビリテーション病棟での活用

痙攣は、脳卒中発症後、数週間経ってから徐々に現れてくる症状であり、回復期リハビリテーションの時期と重なります。

当院は回復期リハビリテーション病棟として、機能回復に集中的に取り組んでおり、この体外衝撃波治療を積極的に活用しています。主治医の診断のもと、理学療法士が、患者さんの麻痺や症状を詳細に評価し、最も効果的な部位に衝撃波を照射します。特に、患者さんご自身で関節を動かすことが難しい時期にこの治療を行うことで、以下のようなメリットが期待されます。

拘縮の予防：関節が固まる（拘縮）のを予防します。



動作の獲得：治療後のリハビリで、手すりを掴む、スプーンや箸を使うといった日常生活動作（ADL）の獲得に結びつきます。

回復期リハビリテーション病院をお探しの際に、この新しい治療法による当院の積極的な取り組みも参考にしていただければ幸いです。

フライパンで簡単 かぼちゃプリン



<材 料>

分量：180mlのプリンカップや耐熱瓶4個分

- ・かぼちゃ・・・・・・・皮付き290g(正味240g)
- ・卵・・・・・・・・・・・2個
- ・砂糖(あればグラニュー糖)・・・65g
- ・牛乳・・・・・・・・・・・240ml



<カラメルソース>

- ・砂糖(あればグラニュー糖)・・・50g
- ・水・・・・・・・・・・・大きじ2杯
- ・熱湯・・・・・・・・・・・大きじ1.5杯

⑥プリンカップの半分くらいの高さまで水が入るフライパンや鍋を用意し、お湯を沸かします。

⑦お湯が沸騰したら火を止め、鍋底にキッチンペーパーを3枚ほど敷き、プリンカップを静かに入れます。



⑧蓋をして弱火で20分加熱します。竹串を刺して液体が出てこなければ完成です。もし液体が出るようなら再度沸騰させてすぐに火を止め、余熱で20分蒸らします。

⑨粗熱をとり、冷蔵庫で冷やしたら出来上がりです。

<作り方のコツ>

なめらかな食感にしたい場合:漬したかぼちゃを裏ごしすると、より舌触りの良いプリンになります。

蒸し加減: フライパンで蒸す際、弱火でもプリンカップ(容器)が揺れるほどの火加減だと、「す」(気泡による穴)が入り、なめらかに仕上がりません。容器が鍋の中でグラグラと揺れないよう、静かに蒸し煮するのが、なめらかに仕上げるための成功の秘訣です。

<作り方>



カラメルソースの作り方

- ・鍋に砂糖と水を入れて中火にかける。
- ・沸騰して泡が出てきたら、熱湯を加えてさらに煮詰めます。
- ・きつね色からあめ色に変わったら火を止め、熱いうちにプリンカップに流し入れます。

プリンの作り方

- ①かぼちゃは皮付きのまま一口大に切り、耐熱皿に入れてラップをかけ、600Wの電子レンジで5分ほど加熱します。竹串がすっと通るくらいになったら粗熱をとってから皮をむき、なめらかになるまで漬します。
- ②鍋に牛乳と砂糖を入れ、弱火で砂糖を溶かします。沸騰させないように注意しましょう。
- ③①のかぼちゃに②の牛乳を少しずつ加え、ダマにならないように混ぜます。ハンドミキサーを使うとよりなめらかに仕上がります。
- ④溶き卵を加えてさらによく混ぜ合わせます。
- ⑤全体が混ざったら、カラメルソースを入れた容器に静かに注ぎ入れ、アルミホイルで蓋をします。

外来診療一覧

	診療科	月	火	水	木	金	土
午前診 受付時間 8:30開始 12:15終了 診察時間 9:00開始	内科	内科 (交代制) 花岡/東/佐藤 (11:45終了)		井上	大嶋 (11:45終了)		落合 西澤(第1・2・4週)
		消化器 北野(均)	北野(均) ○坂東		○柳生		○坂東
		循環器	○岩村		○藤原	○藤原	朴
		呼吸器・腫瘍 ○片芝(雄)		○札谷 池田		藤井	山中(第2週) (第3週交代制) 横原/藤井/ 荒木/北川 (第4週交代制) 荒木/横原/永田
		内分泌 糖尿病 春里			○大野 (10:30開始)	小豆澤 【糖尿病】 【一般内科】	
	外科系	外科	道上	足立 【肛門外科】	太田	道上	
		整形外科 ◎中島	井谷 石田	矢倉 ○奥(おおえ) 【膝・股関節】	井谷 土居	井谷 山田【膝関節】 (12:00終了) (第3週休診)	(※1)石田 (11:45終了) ◎中島 (11:45終了)
		リハビリ	菅 (11:30終了)		◎片山 (退院患者様のみ) (9:45~10:45)		
		脳外科 (11:45終了)					徳永(1・3・5週) 仁木(2・4週)
		皮膚科 (11:45終了)	岡本				

(※1) 偶数月の第2土曜日:土居医師 (※2) 偶数月の第2土曜の翌月曜日:石田医師

	診療科	月	火	水	木	金	
午後診 受付時間 13:45開始 16:45終了 (外科系は 13:40開始) 診察時間 14:00開始	内科	内科 (交代制) 花岡/東/佐藤		篠藤 【神経内科】			
		消化器					北野(均)
		循環器			二木 ○山本		
		呼吸器・腫瘍 永田	○片芝(雄) (16:20終了)		中瀬	○札谷	
		膠原病	○石井			田中	
		内分泌 糖尿病			○大野 (第3週休診)		
		腎不全外来	◎三上				
	外科系	緩和ケア				○足立(1・3週) ○道上(2・4週)	
	皮膚科 (16:30終了)				富江	撮影: 2025年9月30日 場所: 大阪・関西万博	

◎・・・完全予約制

○・・・部分予約制

赤字: 女性医師

※内科医師全員専門以外に内科一般の診察をいたします。

お見舞い・面会の方へ

院内感染対策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当院では、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、当面の間、面会制限とさせていただきます。

入院患者さんの感染予防と安全を確保するため、引き続き皆さんのご協力をお願いいたします。

【面会が可能な方】

- ご家族 ○身の回りのお世話をされる方
○入院や退院に伴う付き添い・手術や検査・緊急の呼び出しのためご来院された場合は、受付において
 その旨をお伝えください。

【面会をご遠慮いただく方】

- ・1週間以内に発熱・咳などの風邪症状や、胃腸症状などがある方(同居家族に同様の症状がある場合もご遠慮いただきます)
 - ・中学生以下(15歳以下)の方　　・海外から帰国後、2週間経過していない方

【面会日・面会時間】

- 平日(月～金)、土日(祝日含む) 14時～17時
 - 1家族 2名まで、20分以内とさせていただきます

【面会の手続き】

- ・各病棟のスタッフステーション窓口で面会簿に面会者の方の情報・体温・体調確認などの必要事項を記入し、面会者証を明示した状態で、スタッフへお声掛けください。
 - ・面会者の健康状態および患者さんの状態により、当にお断りする場合もあります。

【面会時のお願い】

- ・病室に入る際は**不織布マスクの着用・手洗いや手指消毒の実施をお願いします。**
 - ・面会者の飲食はご遠慮ください。 ・面会の際、大きな声での会話はお控えください。
 - ・面会後に面会者のコロナウイルスなどの感染が判明した場合は速やかにお知らせください。
※地域の感染症流行状況により、再度面会禁止の措置を行う場合があります。
※**緩和ケア病棟の面会については病棟スタッフへお問い合わせください。**

2025年10月現在

社会医療法人有隣会

東大阪病院

〒536-0005 大阪府大阪市城東区中央三丁目 4-32

代 表 06(6939)1121
F A X 06(6939)1191
E-mail kikaku@yurin.or.jp

ホームページ <https://www.yurin.or.jp/>

【地域医療連携室】 ***医療機関専用***

直通電話番号 : 06-6932-0369 mail : renkei@yurin.or.jp
直通FAX番号 : 06-6932-0086 FAXは24時間受付します

アクセス方法 access



◇東大阪病院

- ・一般病棟112床
 - ・障がい者施設等病棟60床
 - ・回復期リハビリテーション病棟60床
 - ・緩和ケア病棟23床

◇ 関連施設

- ▶東大阪病院附属クリニック(在宅リハビリテーション課)
 - ▶アイユウ東大阪病院・居宅介護支援事業所
 - ▶訪問看護ステーションゆうりん